

「再エネ100%」 「RE100」への挑戦

2020年1月31日
イオン株式会社
環境・社会貢献部長
鈴木 隆博

- ① 太陽光発電設備の更なる導入
- ② 住宅用FIT電源
- ③ 新たな取り組み

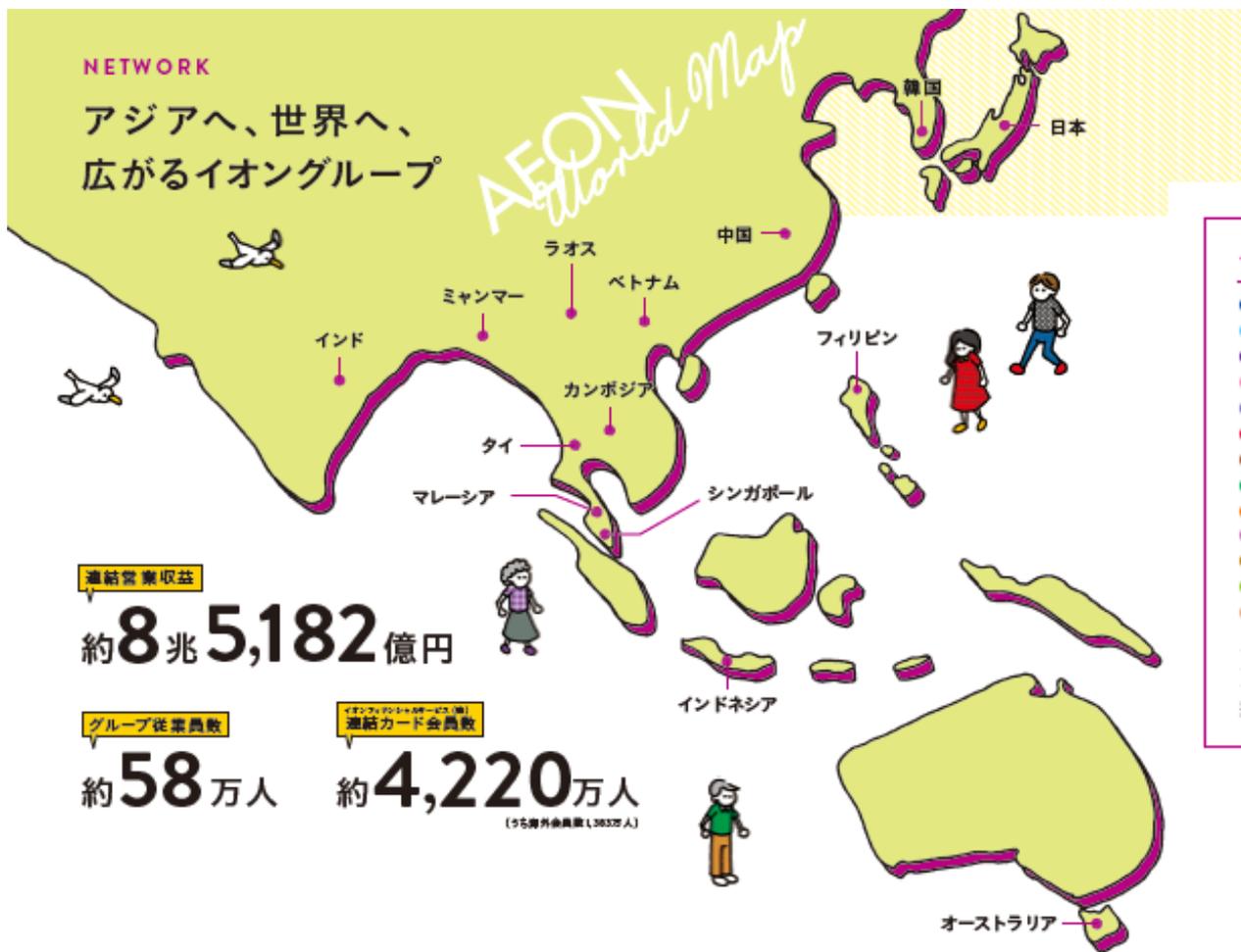
① 太陽光発電設備の更なる導入

② 住宅用FIT電源

③ 新たな取り組み

イオングループの概要

日本・中国・アセアンで約21,900店舗/カ所で展開



連結営業収益
約**8兆5,182**億円

グループ従業員数
約**58**万人

イオンカード・イオンクレジットサービス
連結カード会員数
約**4,220**万人
(うち海外会員数1,383万人)

合計	21,996店舗/カ所
● GMS(総合スーパー)	583店舗
● SM(スーパーマーケット)	2,166店舗
● DS(ディスカウントストア)	587店舗
● HC(ホームセンター)	122店舗
● CVS(コンビニエンスストア)	5,449店舗
● サービス	2,070カ所
● 専門店	4,039店舗
● ドラッグストア	4,817店舗 ^{※1}
● 金融	640カ所
● モール型SC(ショッピングセンター)	315カ所 ^{※2}
● NSC(近隣型ショッピングセンター)	164カ所 ^{※3}
● その他(小売)	1,043店舗
● タスマニア畜産牧場	1カ所

※1 本邦親会社を含む
 ※2 名称が「イオンモール」のSCに加え、敷地面積20,000㎡以上のものを含む
 ※3 名称が「イオンタウン」/NSC
 連結子会社、持分法適用関連会社の店舗数

(2019年2月末時点)

環境方針の経過



「イオンタウン千種」(愛知県)



「イオンレイクタウン」(埼玉県)
エコストア8号店



「イオンモール船橋」(千葉県)
エコストア12号店



「イオンモール八幡東」(福岡県)

イオン脱炭素ビジョン2050策定 (2018)

RE	100
EV	100

イオン 脱炭素ビジョン2050

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（以下CO₂等）排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

店舗

店舗で排出するCO₂等を2050年までに総量でゼロにします。

商品・物流

事業の過程で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。

お客さまと
ともに

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。



2030年までにCO₂排出量35%削減（2010年比）

※SBT承認済

2018年3月より、本社(イオンタワー・イオンタワーAnnex、千葉市)における使用電力を再エネ100%化



東京電力による再エネ「アクアプレミアム」を利用。CO₂を排出しない水力発電由来の電力

● 大型店舗における太陽光発電



イオンモール座間（2018年3月開店）容量1,001kW

● 小型店舗における太陽光発電（スーパーマーケット）



マックスバリュ西日本 鹿の子台 容量100kW

● 小型店舗における太陽光発電（コンビニエンスストア）



● 小型店舗における太陽光発電（ドラッグストア）



ウェルシア薬局 藤枝高洲 容量103.2kW

● ビンタン (ベトナム)



● ジャカルタ・ガーデンシティ (インドネシア)



イオンモール ジャカルタ・ガーデンシティ 容量507kW

● ジャカルタ・ガーデンシティ (インドネシア)



イオンモール ジャカルタ・ガーデンシティ 容量507kW

● センソック シティ (カンボジア)



イオンモールセンソック シティ 容量1,000kW

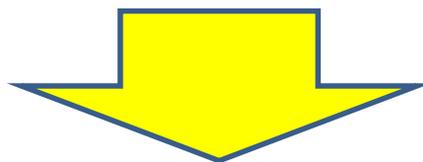
	これまでの取組	デメリット
取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ FITを活用したスキーム 	自己消費再エネとしては未カウント
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「屋根貸し」スキームでの太陽光発電の検討 	発電分はFIT対象となる。 環境経営との繋がり希薄
コスト面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再エネ創出設備の、店舗あたり投資額が膨大 	初期投資額が膨大
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自己資金だけでは設置店舗数や導入速度に限界 	維持管理、メンテナンスコスト 資産計上・管理の必要性

課題を解決すべき新たなスキーム検討に注力



PPAモデル 導入効果

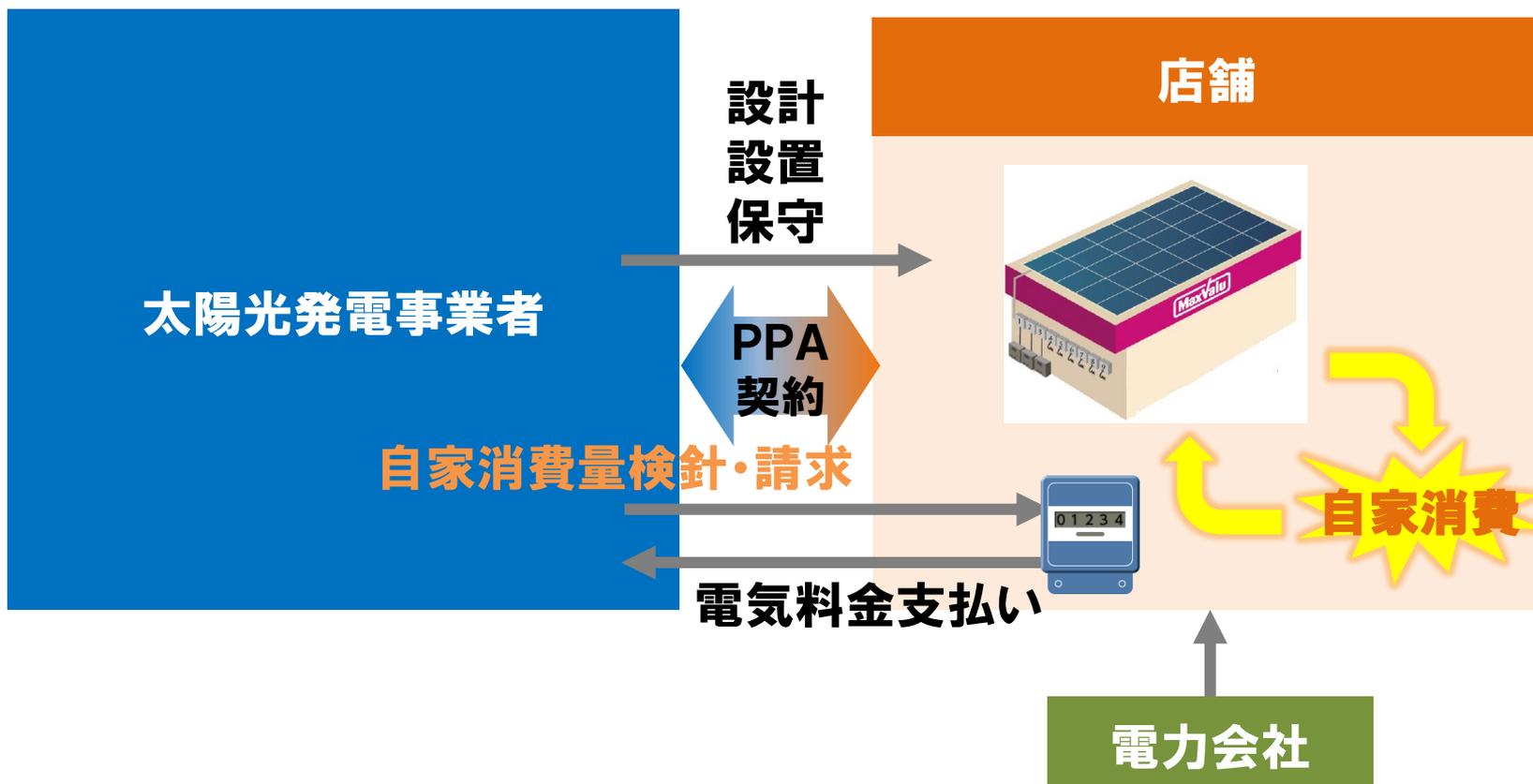
- 基本的に初期投資がゼロ
- 事業者が保守責任を負うためメンテナンスフリー
- 自己消費電力として再エネ導入カウント
- 設備は資産計上されずオフバランスで再エネ調達
- 期中での導入、既存店舗への導入がフレキシブル



再エネの大規模利用の切り札として活用

PPA(Power Purchase Agreement)

太陽光発電事業者の資産として店舗の屋根及び空地へ自家消費型ソーラーを設置。発電した電気は店舗で自家消費する。発電事業者がパネルの調達から設置、運用保守まで手掛け、店舗側は初期投資がなく、運用コストの負担もない。通常と同様に電力料を支払うだけの対応。



実施例：イオンタウン湖南（滋賀県湖南市）

- イオンタウン湖南（運営：イオンタウン株） 2019年3月に契約締結
- 4000枚弱のパネルを設置し、最大約1,200 kW分の発電能力（店舗使用の約20%）



～地域の皆さまに寄り添うショッピングセンターをめざして～
「イオン藤井寺ショッピングセンター」
9月14日(土) AM9:00 グランドオープン!

イオンは、2019年9月14日(土)、大阪府藤井寺市に新たな商業施設「イオン藤井寺ショッピングセンター」(以下、当SC)をグランドオープンします。

当SCは、1973年に開業し、2007年に「イオンモール藤井寺」に名称を変更。約40年間に亘り、地域の皆さまにご愛顧いただけてまいりましたが、多様化するお客さまのニーズにお応えすべく2014年2月28日をもって一旦営業を終了しました。

この度、地域の皆さまの毎日のくらしに、圧倒的な便利さと食の豊かさ、選べる楽しさをご提供すべく、最新型の商業施設として生まれ変わります。

『これまでも、これからも。まちと人の、すぐそばに。』をSCコンセプトに、毎日の食卓に彩りをくわえるバラエティ豊かな一次グルメゾーンや、日々のくらしにある便利なライフスタイル専門店を導入。オープン以来ご愛顧いただいたお客さまはもちろん、地域の皆さまに徹底的に寄り添い、地域のコミュニティ拠点としてさらに愛され、なくてはならない商業施設として、にぎわいの拠点を創出します。

【TOPICS】

- ▶ **日常に寄り添うコンパクトで多機能な商業施設をめざして**
食品スーパーとともに、電化製品、書籍・インテリア・ファッション・雑貨など、デイリーニーズに特化した5つの専門店を集積。お客さまの日常に寄り添う話題の専門店が、地域の皆さまのご要望にお応えします。また、行政とも連携し、図書館の巡回ポストや市政インフォメーションも設置します。
- ▶ **日々のくらしに彩りをくわえる食の一次ゾーン「Food Park」**
これまでも地元で支持されてきた生鮮三品にくわえ、こだわりの食物産、くつろぎのひとときをご提供するカフェやレストランなど、25店舗が出店。一次グルメゾーンを形成し、圧倒的な食の世界を実現します。
- ▶ **屋上には「やすらぎ」と「くつろぎ」をもち「まきひろば」を設置**
屋上には、一面天然芝生を敷いた「まきひろば」を設置し、中央には子ども遊び場として、滑り台を配置します。また、屋外ステージを設け、さまざまなイベントを開催します。地域の皆さまの憩いの場として、新たににぎわいを創出します。
- ▶ **脱炭素ビジョンをめざす「次世代スマートイオン」店舗としての取り組み**
オープンネットワークシステムによる施設運営機能の合理的統合と再生可能エネルギーを活用し、省エネと創エネの全体最適を実現します。
- ▶ **新店舗「イオンフードスタイル藤井寺店(仮称)」**
鮮度と品質にこだわった生鮮食品の充実に加え、店内で焼き上げたステーキやこだわりのチーズをお酒と楽しめる「バル」、種類豊富な惣菜をお召し上がりいただける「イートインコーナー」などを展開し、お客さまの「食べに行きたい!」「料理したい!」ニーズにお応えします。

1. 環境負荷低減の取り組み

▶ オープンネットワークシステムの採用

施設運営に必要な設備機器類を統合管理するオープンネットワークシステム※を採用し、施設内・外を問わず遠隔管理を行える計画としています。設備管理者による施設巡回を行いながらの細やかな設備運用に加え、施設運営データの収集、解析をとおして従来の取り組みからさらなる省エネルギーな施設運営に取り組みます。



※オープンネットワークシステム設備機器をネットワーク統合し、クラウド運用により、効率的施設運営と遠隔オペレーションが可能なシステム。

▶ 再生可能エネルギーの活用

PPAモデル※として屋上に設置した太陽光発電設備により、一般家庭の年間約30世帯分に相当するクリーンな電力を発電し、施設内の電力の一部として再生可能エネルギーの活用拡大に取り組みます。



※PPAモデルとは「Power Purchase Agreement (電力販売契約) モデル」の略でPPA事業者が電力需要家の敷地や屋根等を借り太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を需要家に販売する事業モデル。

実施例： イオンモール藤井寺（大阪府：9月14日オープン）

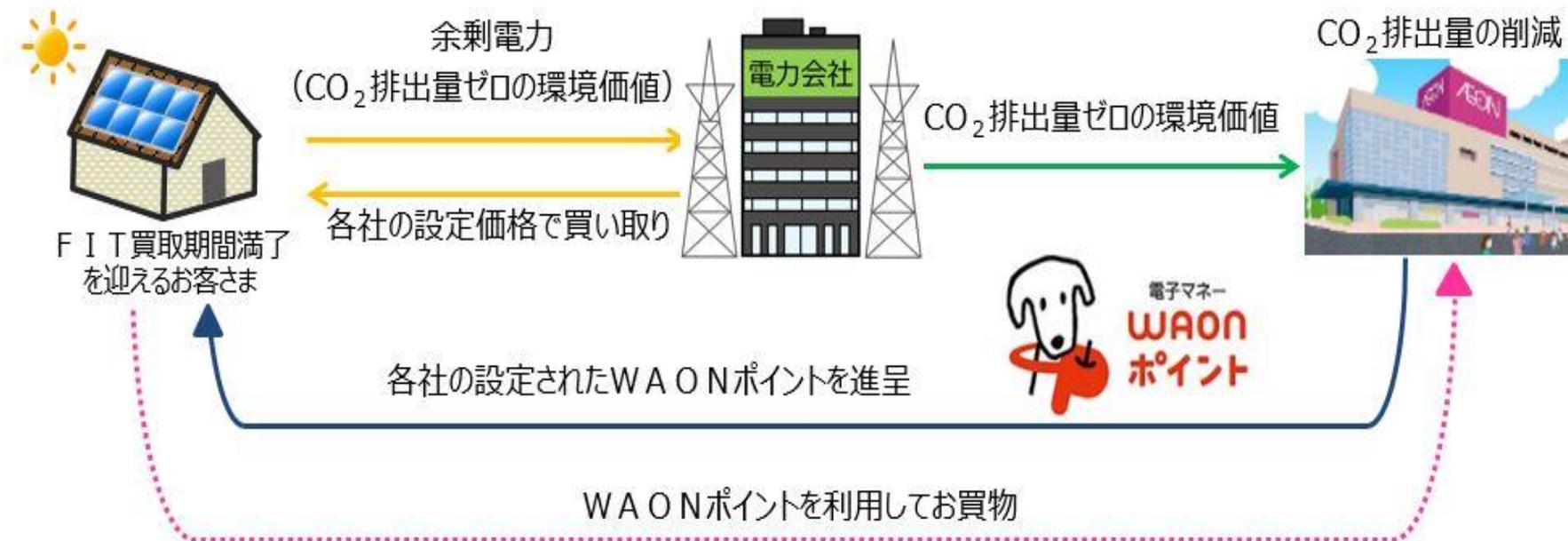


① 太陽光発電設備の更なる導入

② 住宅用FIT電源

③ 新たな取り組み

- お客さま宅の卒FIT電力を電力会社が調達してイオンへ供給。
イオンがお客さまへWAONポイントを進呈するスキーム
- 電力価格やポイント数は今後の市場動向等を注視して最適な設定を行う



電力会社との取組（中部、中国、四国）



中部電力

2018年11月12日
イオン株式会社
中部電力株式会社

再生可能エネルギーの活用に向けた新サービス提供に関する基本合意について

イオン株式会社（所在地：千原市美浜区、代表取締役社長：岡田 元也、以下「イオン」）と中部電力株式会社（所在地：名古屋東区、代表取締役社長：藤野 智、以下「中部電力」）は、太陽光発電による再生可能エネルギーの固定価格での買い取りが終了を迎えるお客さま向けに、新たなサービスを提供することについて基本合意しました。

イオンは、「イオン 脱炭素ビジョン2050」を掲げ、目標のひとつとして2050年までに店舗で排出するCO₂等を総量でゼロにすることを目指しています。また、中間目標としては、2030年までに店舗で排出するCO₂を総量で35%（2010年比）削減することとし、各種施策を展開しています。

中部電力は、2019年11月以降、再生可能エネルギーの固定価格での買い取りが順次終了していくことを踏まえ、ご家庭で発電した電気を様々な形で取り引きできる「これからデンキ」のサービス提供に向けた準備を進めています。

本サービスは「これからデンキ」のサービスのひとつとして、ご家庭の太陽光発電による余剰電気を中部電力が寄り、電力をご提供くださったお客さまには、その量に応じてイオンから「WAONポイント」をプレゼントさせていただきます。また、イオンは中部電力から同電力の提供を受け、店舗運営のCO₂排出量削減の施策として活用していきます。

両社は、それぞれの持つ資源を活用し、お客さまへのよりよいサービスの提供に努め、再生可能エネルギーの利用を拡大することで、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

【サービスの概要（2019年11月開始予定）】
サービス提供エリア：中部エリア

※「WAONポイント」を、イオンの電子マネー「WAON」に交換することで、イオングループ内外のWAON加盟店（全国約41万1千カ所：2018年9月末現在）で、お買物などに利用いただけます。

2019年8月23日
イオン株式会社
中国電力株式会社

住宅用太陽光発電設備の余剰電力を活用した新たなサービス「WAONプラン」の開始について

イオン株式会社（本社：千葉県千葉市、取締役代表執行役社長：岡田 元也、以下「イオン」）および中国電力株式会社（本社：広島県広島市、代表取締役社長執行役員：清水 寿彦、以下「中国電力」）は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度による太陽光発電の買い取りが終了するお客さまを対象に、2019年11月より中国電力が提供するサービス「ぐっとずっと。グリーンフィット」^{※1}の1つとして、新たに「WAONプラン」を開始します。

「WAONプラン」は、中国電力が、ご家庭の太陽光発電による余剰電力を買い取り、買い取った余剰電力に含まれるCO₂排出量ゼロの環境価値をイオンの店舗へ提供することで、中国電力の定める買取単価（2019年度は7.15円/kWh〔税込〕）による買い取りに加え、1kWhあたり1WAONポイント^{※2}を進呈するサービスです。イオンは、提供を受けたCO₂排出量ゼロの環境価値を、店舗運営のCO₂排出量削減の施策として活用していきます。

イオンは、2018年3月に「イオン 脱炭素ビジョン2050」を発表し、2050年までに店舗で排出するCO₂等を総量でゼロにすることを目指しています。また、中間目標として2030年までに店舗で排出するCO₂を総量で35%（2010年比）削減することを定め、省エネルギーの取り組みに加え、再生可能エネルギーの活用拡大に向けて取り組んでいます。

両社は、お客さまからのご期待にお応えし、ご満足いただけるサービスをご提供できるよう、さらなるサービスの開発・向上に取り組んでまいります。

【「WAONプラン」のイメージ】

※1「ぐっとずっと。グリーンフィット」の提供エリアは、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、および兵庫県、香川県、愛媛県の一部です。
※2「WAONポイント」を、イオンの電子マネー「WAON」に交換することで、イオングループ内外のWAON加盟店（全国約49万5千カ所：2019年7月末現在）で、お買物などにご利用いただけます。

四国電力株式会社
しあわせの力あふなりになりに。

2019年11月14日
イオン株式会社
四国電力株式会社

住宅用太陽光発電設備の余剰電力を活用した新たなサービス「四電WAONプラン」の開始について

イオン株式会社（本社：千葉県千葉市、取締役代表執行役社長：岡田 元也、以下「イオン」）および四国電力株式会社（本社：香川県高松市、取締役社長 社長執行役員：長井 晋介、以下「四国電力」）は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）による太陽光発電の買い取りが終了するお客さまを対象に、2019年12月2日より四国電力が提供する新たなサービス「四電WAONプラン」^{※1}の募集を開始します。

「四電WAONプラン」は、四国電力が、ご家庭の太陽光発電による余剰電力を買い取り、買い取った余剰電力に含まれるCO₂排出量ゼロの環境価値をイオンの店舗へ提供することで、四国電力の定める買取単価（2019年度は7円/kWh〔税込〕）による買い取りに加え、1kWhあたり1WAONポイント^{※2}を進呈するサービスです。イオンは、提供を受けたCO₂排出量ゼロの環境価値を、店舗運営のCO₂排出量削減の施策として活用していきます。

イオンは、2018年3月に「イオン 脱炭素ビジョン2050」を発表し、2050年までに店舗で排出するCO₂等を総量でゼロにすることを目指しています。また、中間目標として2030年までに店舗で排出するCO₂を総量で35%（2010年比）削減することを定め、省エネルギーの取り組みに加え、再生可能エネルギーの活用拡大に向けて取り組んでいます。

両社は、お客さまからのご期待にお応えし、ご満足いただけるサービスをご提供できるよう、さらなるサービスの開発・向上に取り組んでまいります。

【「四電WAONプラン」のイメージ】

※1「四電WAONプラン」の提供エリアは、香川県、愛媛県、徳島県、高知県（香川県・愛媛県の一部を除く）。
※2「WAONポイント」を、イオンの電子マネー「WAON」に交換することで、イオングループ内外のWAON加盟店（全国約53万7千カ所：2019年10月末現在）で、お買物などにご利用いただけます。

これからのデンキ

WAONプラン（電気料金発注+WAONポイント）

自分で作ったデンキをイオンにシェア
7.0円/kWhは翌月の電気料金充当
WAONポイント2pt/kWhもプレゼント!!

※1 売電単価が250kWhの場合、買取単価250kWh×7.0円/kWh=1,750円
250kWh×2pt/kWh=500pt

※2 売電単価が250kWhの場合、買取単価250kWh×7.0円/kWh=1,750円
250kWh×2pt/kWh=500pt

【「WAONプラン」のイメージ】

※1「ぐっとずっと。グリーンフィット」の提供エリアは、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、および兵庫県、香川県、愛媛県の一部です。
※2「WAONポイント」を、イオンの電子マネー「WAON」に交換することで、イオングループ内外のWAON加盟店（全国約49万5千カ所：2019年7月末現在）で、お買物などにご利用いただけます。

【「四電WAONプラン」のイメージ】

※1「四電WAONプラン」の提供エリアは、香川県、愛媛県、徳島県、高知県（香川県・愛媛県の一部を除く）。
※2「WAONポイント」を、イオンの電子マネー「WAON」に交換することで、イオングループ内外のWAON加盟店（全国約53万7千カ所：2019年10月末現在）で、お買物などにご利用いただけます。

① 太陽光発電設備の更なる導入

② 住宅用FIT電源

③ **新たな取り組み**

● EV100への加盟（2017年加盟：イオンモール(株)）



EV充電器

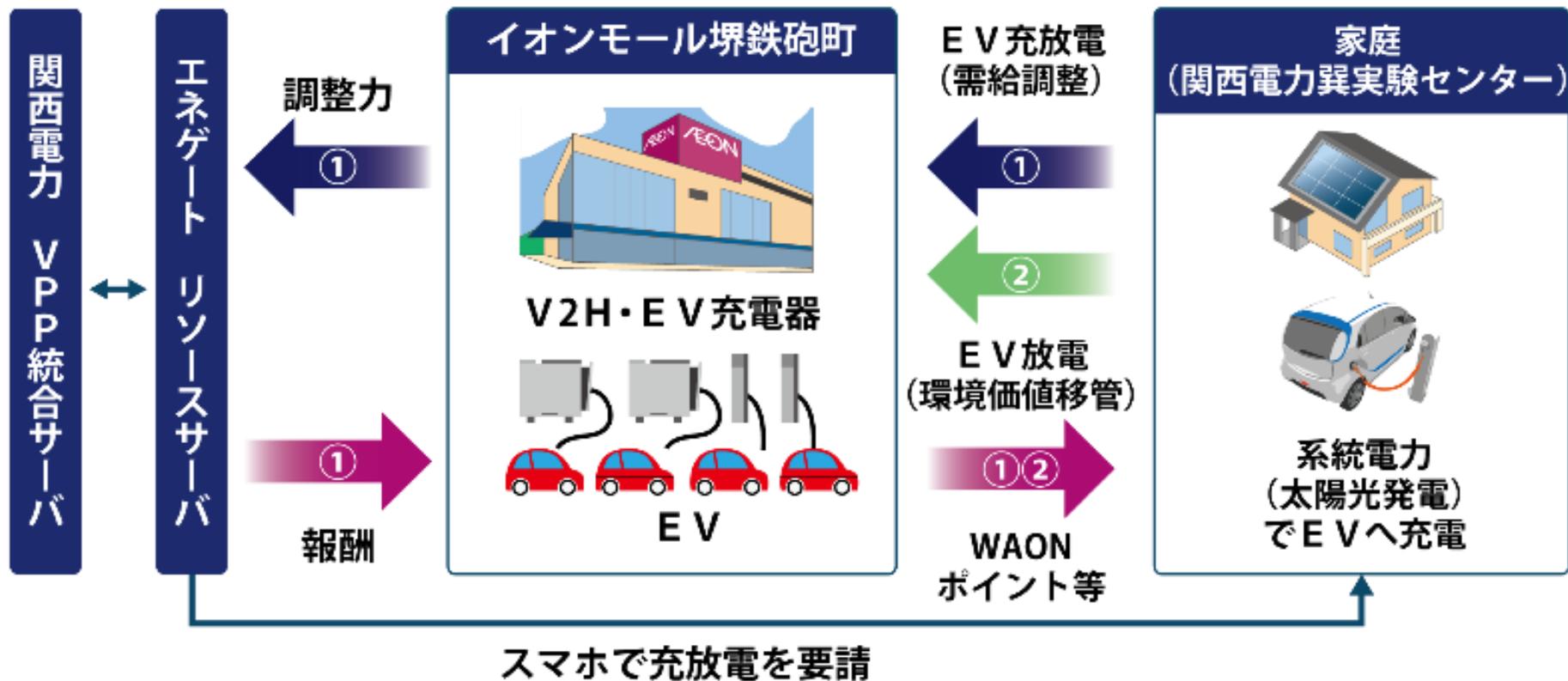
国内 全146モールに設置完了

国内設置数 1,829基（普通・急速計）

（2019年5月現在）

VPP実証

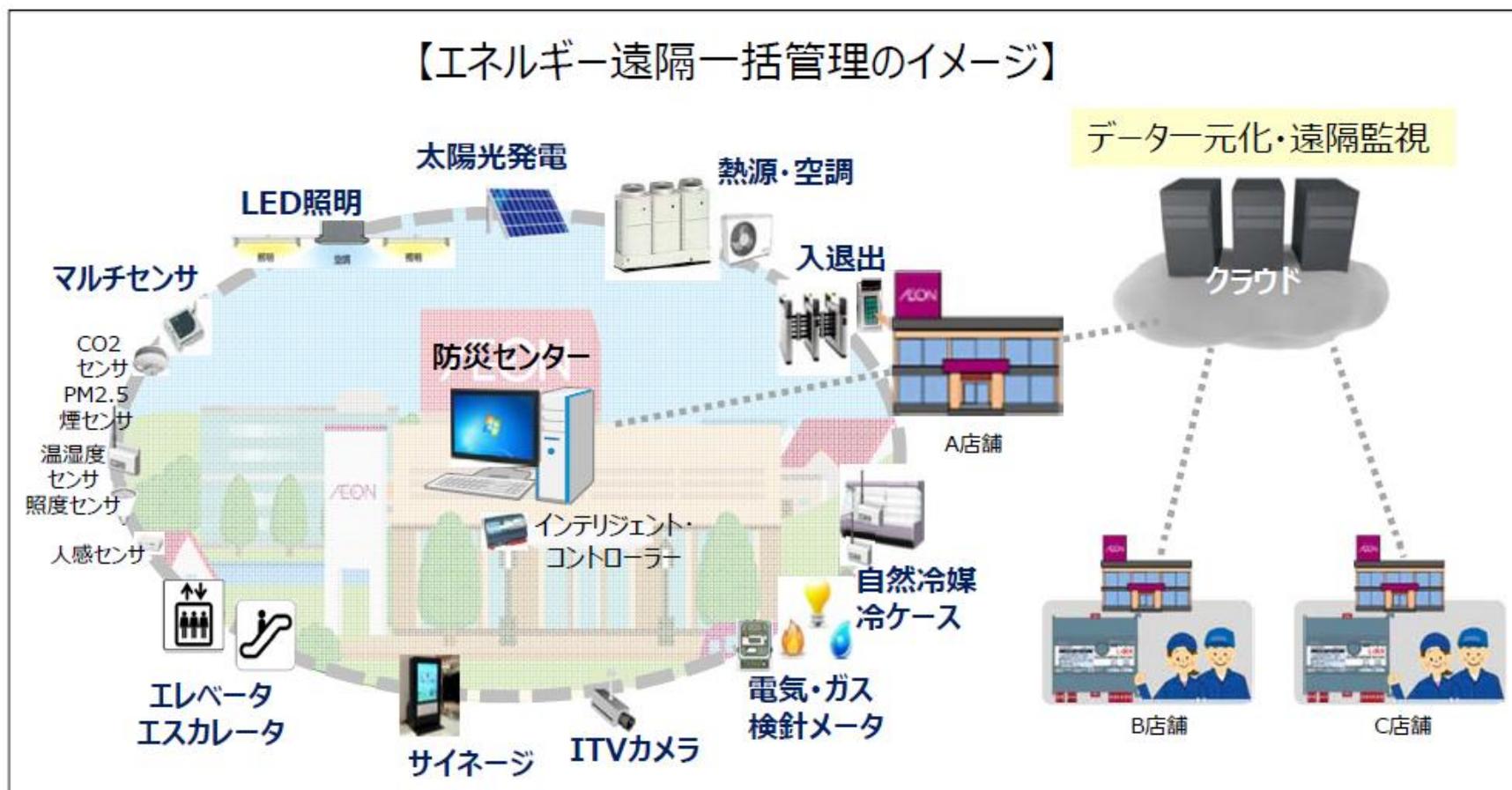
イオンモール堺鉄砲町（2016年3月開店）



**V2H(充放電器)・EV充電器を活用したVPP実証ならびに
ブロックチェーン技術を活用した環境価値実証を開始**

オープンネットワークシステム

- IoTを活用して、グループ店舗のエネルギー融通を遠隔一括管理。エネルギーの部分最適から全体最適化へ



オープンネットワークシステム

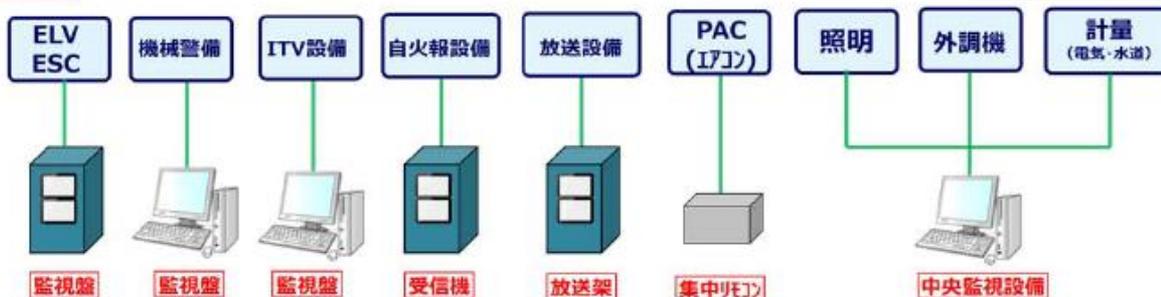
イオン藤井寺ショッピングセンター（2019年9月開店）



従来

防災センター

※各設備毎での
個別管理

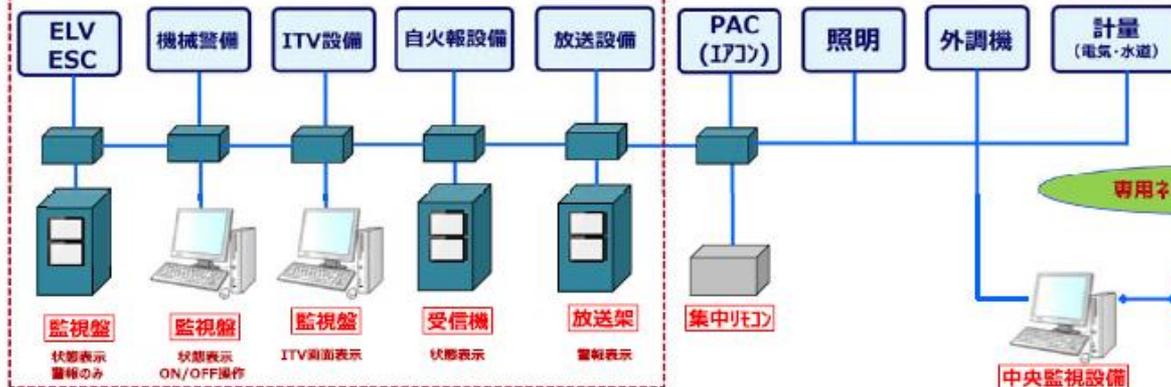


導入後

防災センター

一部信号を統合する設備

※一元管理



A large, stylized AEON logo is centered on the page. The letters are a vibrant magenta color. The letter "O" is particularly prominent, featuring a glowing, three-dimensional ring that orbits around it, creating a sense of motion and depth. The overall design is clean and modern.